



「平成 29 年度 防災・日本再生シンポジウム」を開催

増大する自然災害と人口減少・高齢化により、地域の脆弱性は年々高まっています。これらの現象を国土管理の観点から捉え、地域のレジリエンス（強靱性）を高めるための方策について、災害多発地帯であり、過疎地域を多く抱える九州地方を題材として議論を行ないます。

平成 29 年度防災・日本再生シンポジウム

「地域レジリエンス創生シンポジウムー九州の大災害の経験を踏まえた地域レジリエンス創生ー」

開催日 : 2018年 1月29日 (月)

時間 : 13:30~16:00 [13:00 受付開始]

場所 : アクロス福岡 7階大会議室 (〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神 1-1-1)

参加費 : 無料

申込方法 : メールにて氏名・所属・連絡先(メールアドレス等)をご連絡ください

主催 : 九州大学 (工学研究院附属アジア防災研究センター、西部地区自然災害資料センター、平成 29 年 7 月九州北部豪雨災害調査・復旧・復興支援団)

共催 : 一般社団法人国立大学協会



【プログラム】

13:30~13:40 開会挨拶 **安浦 寛人** 九州大学 理事/副学長

13:40~14:20 基調講演 「平成 29 年 7 月九州北部豪雨災害と九州大学の取組」
三谷 泰浩 九州大学 平成 29 年 7 月九州北部豪雨災害調査・復旧・復興支援団長
同大学 工学研究院 附属アジア防災研究センター長/教授

14:20~14:40 事例報告 「熊本地震における大学の対応」
松田 泰治 平成 28 年熊本地震 土木学会西部支部調査団長
九州大学 工学研究院 社会基盤部門 教授

14:40~15:00 事例報告 「九州地方整備局の防災対応の取り組み」
安部 宏紀 国土交通省 九州地方整備局 総括防災調整官

15:20~15:55 パネルディスカッション
コーディネーター **塚原 健一**
九州大学 工学研究院 附属アジア防災研究センター 教授
パネラー **基調講演者 1 名、事例報告者 2 名、東峰村より 1 名**

15:55~16:00 閉会挨拶 **島谷 幸宏** 九州大学 決断科学プログラム 災害モジュールリーダー
同大学 工学研究院 環境社会部門 教授

【問合せ先】 九州大学 工学研究院 附属アジア防災研究センター 助教 加知 範康

Email : kachi@doc.kyushu-u.ac.jp

TEL/FAX : 092-802-3407

「地域レジリエンス創生シンポジウム

—九州の大災害の経験を踏まえた地域レジリエンス創生—

2018年

1月29日（月）13:30～16:00 [13:00 受付開始]

アクロス福岡 7階 大会議室 810-0001 福岡県福岡市中央区天神 1-1-1

参加費
無料

主催 九州大学（工学研究院附属アジア防災研究センター、西部地区自然災害資料センター
平成29年7月九州北部豪雨災害調査・復旧・復興支援団）
共催 一般社団法人国立大学協会

プログラム

13:30
～13:40 **開会挨拶** 安浦 寛人 九州大学 理事／副学長

13:40
～14:20 **基調講演「平成29年7月九州北部豪雨災害と九州大学の取組」**
三谷 泰浩 九州大学 平成29年7月九州北部豪雨災害調査・復旧・復興支援団長
同大学 工学研究院 附属アジア防災研究センター長／教授

14:20
～14:40 **事例報告「熊本地震における大学の対応」**
松田 泰治 平成28年熊本地震 土木学会西部支部調査団長
九州大学 工学研究院 社会基盤部門 教授

14:40
～15:00 **事例報告「九州地方整備局の防災対応の取り組み」**
安部 宏紀 国土交通省 九州地方整備局 総括防災調整官

15:20
～15:55 **パネルディスカッション**
コーディネーター 塚原 健一 九州大学 工学研究院 附属アジア防災研究センター 教授
パネラー 基調講演者1名、事例報告者2名、東峰村より1名

15:55
～16:00 **閉会挨拶** 島谷 幸宏 九州大学 決断科学プログラム 災害モジュールリーダー
同大学 工学研究院 環境社会部門 教授

【問合せ先】 九州大学 工学研究院 附属アジア防災研究センター 加知 範康
kachi@doc.kyushu-u.ac.jp、TEL/FAX 092-802-3407

【参加申込】 参加人数を把握するため、できる限り事前に、上記【問合せ先】に、氏名・所属・連絡先（メールアドレス等）を、メールにてご連絡いただければ幸いです。